

事業所名		児童発達支援事業所あゆみ				支援プログラム（児童発達支援事業）				作成日		2025 年		3 月		17 日	
法人（事業所）理念		江別市子ども発達支援センターは、発達に心配や課題があるお子さんとそのご家族への相談と支援を通じてお子さんの育ちや暮らしを支えることで、ウェルビーイング(*)の向上に努めています。また、地域の中核的施設として様々な関係機関と連携しながら、一人一人のお子さんがご家庭や地域の中でよりよく生活していけるよう応援します。 （*）ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に幸せな状態、満たされている状態で、広い意味の幸福を指す概念を言います															
支援方針		●親子の関係性を大切にします ・保護者様が、お子さんと一緒に活動に参加することで、対人関係の基礎となる基本的信頼感やアタッチメント(愛着)の育ちを支えます ・お子さんの行動の背景や関わりを保護者様と一緒に考え、共有しながらお子さんへの理解を深めていくことで、豊かな育ちを応援していきます ●関係機関との連携を大切にしています ・お子さんが生活に適應できるように、また発達支援を効果的に進めるために、幼稚園や保育園（所）、認定こども園のほか、学校、保健センター、医療機関等の様々な機関と連携を図っています ・インクルージョンを推進し、お子さんの育ちやご家族の意向を踏まえ、幼稚園や保育園（所）、認定こども園との併用や移行支援を進めます ●専門職による相談や支援により総合的な発達支援を目指します ・作業療法士や理学療法士、保育士等の専門職員を配置し、発達に関する専門的な相談や支援を行います ・本人支援に当たっては発達の5領域の視点に基づいた総合的な支援を行うほか、専門性に基づき定期的にあセスメントを実施します ・安心できる豊かな環境や体験を通じて、様々な活動や人との出会いを大切にし、その中で楽しさに気づいたり、分かったり、考えたりしながら遊びに向かう主体性や育ちを支えます ・必要に応じて特定の領域に重点を置いた個別・集中的な支援を実施します															
営業時間		9 時				15 分から		17 時		15 分まで		送迎実施の有無		なし			
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・お子さんの発達段階や生活状況を踏まえて、生活リズムや生活習慣が安定し、身に着くよう支援します ・食えることや食具の使い方、衣服の着脱、排泄などの基本的生活スキルを獲得することで身辺自立を促します ・就園前のグループ支援では食事支援を通じて口唇や舌の動き、咀嚼や嚥下などの口腔機能を促進し、ことばを表出する時に必要な口の動きや機能も促していきます															
	運動・感覚	・サーキット活動や体育的活動などの遊びを通じて、全身の感覚機能や運動機能を育てます ・姿勢保持に必要な座位保持など補助具の工夫や活用を図ります ・肢体不自由児や医療的ケア児等に対する姿勢や運動への配慮やアプローチを通じて、運動機能の維持、向上を図ります ・手や指先を使う活動を通じて巧緻動作の発達を促し、ハサミや箸など道具操作の向上を図ります ・感覚特性に配慮し、感覚統合理論等を活用、応用しながら環境への適應を促します ・必要に応じて理学療法士や作業療法士による専門的支援を実施します															
	認知・行動	・遊びや体験を大切にし、多種多様な活動を通じてお子さんの興味・関心を広げ、注意を向けたり集中したりする力を育てます ・絵や写真、文字のスケジュール表などを使って、予定を分かりやすく伝えます ・遊びを通じた支援の中で物の機能や用途、形や色、音の変化のほか、大小や数、時間や空間への興味や概念形成を育てます ・感覚や認知特性、コミュニケーションの難しさなどから生ずる行動や集団への適應のしにくさをできるだけ予防し、より好ましい行動を促しながら対応します ・自分ができることや苦手なことを理解するとともに、気持ちや感情を上手にコントロールしながら行動できるよう支援します															
	言語 コミュニケーション	・大人やお友達との相互作用を通じて、他者と同じものに注意を向け、相手の行動の意図を理解、推測しながらコミュニケーションを図ることができるよう支援を行います ・ことばの表出だけでなくアイコンタクトや指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるようにコミュニケーション手段の選択と活用を図ります ・コミュニケーションを通じて周辺状況を知り、自分を表現したり、行動をコントロールしたりする力を育てます ・発達の特性や年齢に応じて読み書き能力の向上のための支援を行います															
	人間関係 社会性	・安心できる環境のもとで、人や自分に対する基本的信頼感を育み、関わりの中でアタッチメント（愛着）の形成や安定が図られるよう支援します ・不安を抱いた際に、職員や保護者様のもとで安心感を得ることで、気持ちに折り合いをつけられる「安心基地」となるよう支援します ・遊びを通じてことばや動作の模倣を促すことや、見立てやごっこ遊び等を通して社会性や対人関係の基盤づくりを支援します ・一人で活動する時間も大切にしつつ、お友達との並行遊びから段階的に協同遊びができるように活動を工夫しながら、発達段階に応じた豊かな社会性を育みます ・保護者様や職員、お友達と一緒に遊び、関わる中で様々な刺激を受け、学び、チャレンジする気持ちを育てていきます ・主体的な取り組みを大切にし、自己発揮することで自分を大切にする気持ちや自尊感情を育てます															
家族支援		・親子通所を基本とし、アタッチメント（愛着）の形成や安定を大切にしています ・お子さんの発達や就園、就学等ご家族の悩みに対して相談や助言を行います ・お子さんの特性や発達に配慮した家庭環境の整備についてアドバイスを行います ・ご家族と支援場面を共有することで、お子さんに最適な遊びや関わりなど学びの機会を提供しています								移行支援		・交流保育等を通じて幼稚園や保育園（所）、認定こども園への移行を考える機会を提供するなどインクルージョンを推進しています ・就園や就学を迎える時期には関係機関と連携し、引継ぎ等を行なっています ・就園前には保育園に出向き、保育園児と一緒に集団活動を体験する交流保育を実施しています ・就学前には就学に関する説明会を教育委員会と共同で開催し、必要に応じて教育相談を促しています					
地域支援・地域連携		・幼稚園や保育園（所）、認定こども園への訪問や電話での聞き取り（モニタリング）を行い、効果的な関わりについて情報を共有するなど、関係機関と連携を図っています ・幼稚園や保育園（所）、認定こども園や学校教育に関わる方々と市内の相談、通所事業所との連携充実に向けた学習会を行っています ・関係機関への巡回相談や定期的な訪問を通じて子どもへの支援や施設職員へのコンサルテーションを実施しています ・江別市自立支援協議会子ども部会の事務局として、関係機関と地域課題の共有や話し合いを定期的を開催しているほか、地域療育関係職員研修会を企画開催し、学びの場を提供しています								職員の質の向上		【内部研修】 ・保育士勉強会、セラピスト勉強会、センター職員勉強会を定期的に開催するほか、現場でのスーパービジョンの実施 ・虐待防止委員会や虐待対応（身体拘束）に関する研修 ・感染症対策や事故防止に関する研修や防犯対策（不審者対応）に関する研修・訓練 【外部研修】 ・各種学会や発達に関わる専門研修会への参加、近隣施設見学研修等					
主な行事等		○保護者交流会（グループ利用者対象 年2回） ○家庭訪問（未就園グループ対象 春～夏頃 年1回） ○交流保育（3、4歳児対象） ○就学に関する説明会（4、5歳児の保護者対象） ○防災月間（9月）に避難訓練や防災活動を実施 ○その他、季節に合わせた製作活動や水遊び、雪遊び等を行うほか、一年を通じて室内温水プールでの活動を取り入れています															